

平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	現代社会	普通科・3 学年・文系	2
教科書	[主たる教材] 実教出版「高校 現代社会」		
副教材等	[副教材] とうほう「フォーラム現代社会」「ニューコンパスノート現代社会」		

1 科目の目標

人間の尊厳と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の内容

- (1) 現代社会の諸課題
- (2) 現代社会と人間としての在り方生き方
- (3) 共に生きる社会を目指して

3 授業計画

月	学習内容	配当 時間	指導上の留意点
4 5	* 前年度の政治経済の内容を受け、以下のテーマを重点的に学習。 第 7 章－③公害防止と環境保全 ④消費者問題	9	環境と消費者の権利に関する諸課題を知り、その背景として大量生産・大量消費社会の到来が日本人の暮らしに及ぼした影響を考えさせる。
5 6 7	⑤労働問題と雇用 ③社会保障 〔夏期課題：第 3 章現代の国家と民主政治〕	13	「労働ハンドブック」等も活用しながら、労働者としての権利を知る。また国内の労働問題を理解させた上で、ペアワーク等を通じてこれから望まれるワークスタイルや労働者の権利を考えさせる。
8 9 10	③社会保障（続き） 第 8 章－①国際経済のしくみ ②グローバル化と国際経済 ③地域経済統合と新興国の動向	18	社会保障の歴史と仕組みを理解するとともに、少子高齢化を始めとする現代の社会保障上の諸課題を知り、自己の暮らしをいかに守るかを考え行動できる人間の育成を目指す。 世界経済と日本では、世界経済の変化を学び、地域経済統合について考える。
10 11 12	④発展途上国のゆくえ 第 5 章－①近代の国際社会の成立とその変容 ②国際法の発展 ③安全保障と国際連合 ④冷戦期の国際政治と現代の国際社会の課題 ⑤核兵器と軍縮	18	自由貿易の功罪を考える。特に、南北問題については、図書館を活用し、JICA の刊行物『mundi』から、その実態を調べさせる。 国際社会の成立から発展までを歴史的観点から捉えさせ、その中で国連が果たしてきた役割を踏まえた上で、現在の課題を考察させる。

1	第1章－青年期と自己形成	12	倫理の授業内容を踏まえ、社会の中で主体的に考え行動できるよう、アイデンティティの確立を目指す。また、社会の中で、多様な価値観を認め合い、共存できる市民として必要な考え方や態度を身に付ける。
2	第2章－他者とともに生きる倫理		
3			

計 70時間 (55分授業)

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
評価の観点・規準	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究しようとしている。また、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現に向けて主体的に学ぼうとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断できている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を収集し、有用な情報を選択して効果的に活用しているか。また、各テーマにおいて求められる言語活動において、適切に表現することができている。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の遵守度 提出物 発言状況 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 グループワーク等における発表状況 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集の解答 定期考査

5 担当教員

公民科教諭

6 担当者からのメッセージ

受験を勝ち抜く力を身につけるだけでなく、現代社会を主体的に生きるために必要な思考力・判断力・表現力を高めてもらいたいと考えています。自分が変わると、同じものを見ても見え方が変わります。その楽しさに気付いてもらえるような授業を目指します。